

令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社 劇団 芸優座
公演団体名	株式会社 劇団 芸優座

内容
<p>① 第一部(全校生徒の皆さんを対象に・・・ 4～50分)</p> <p>☆事前の鑑賞指導 公演本番を心待ちにして頂ける様、作品のテーマや原作者、時代背景や舞台となる地域について等、プロジェクターで美しい映像を見ながら簡潔に説明します。</p> <p>☆「お芝居の稽古」体験 俳優が日々続けている発声・発音の練習、呼吸法や準備運動を劇団員と共に体験します。また、「リラックスと集中」など、日常生活にも役に立つ演劇訓練も紹介します。</p> <p>② 第二部(共演する生徒さんを対象に・・・ 6～90分)</p> <p>★まずは、ウォーミングアップ コミュニケーションをとる事の大切さ、体一杯で表現する事の面白さ等を経験して頂くことを目標に、「ミラーゲーム」「わたし・あなたゲーム」「震源地ゲーム」等、目的のはっきりしたインプロゲームを楽しみます。続いて、身近なシチュエーションを用いて、誰にでもできるエチュード等、演技するための具体的な訓練を体験します。</p> <p>★舞台に立つための稽古 最後に、共演シーンの稽古をします。ご希望であれば事前に出演台本や楽譜をお送りしますが、特に予習をして頂く必要はありません。既に劇団員とも連帯感が生まれ、リラックスしたムードで稽古が始まります。まず、本番のDVDを観ながら、各役のおかれている状況について説明を聞き、役ごとに分かれて、それぞれのセリフや動きを覚えたり、生徒さん方ご自身のアイディアを大切にしながら、その役について研究します(当日もリハーサルがあります)。本番前の緊張も良い経験ですが、あくまでも楽しい体験となるよう、生徒さん方が自信をもって本番を迎えられるよう配慮します。</p> <p>同時に並行して・・・ スタッフ希望者はDVDを観ながら、各自の役割について説明を受けます。また幕間で登場する聖歌隊は、原則、舞台での出入りの練習が主になります。</p>

タイムスケジュール(標準)
担当者到着～開始時間のおよそ一時間前。準備・会場の下見 第一部(全体向け) 40～50分(終了後、休憩10分) 第二部(共演者のみ) 前半30分・後半30～60分 ※ワークショップ終了後、担当先生と公演当日の打ち合わせを予定しています。

派遣者数
講師1名 補助3名

学校における事前指導
共演者をご選定頂く事、開始までに資料をお配り頂く事以外は特にありません。

令和4年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社 劇団 芸優座
公演団体名	株式会社 劇団 芸優座

演目

ザ・ラスト リーフ
『 最後の一葉 - O.ヘンリー物語 』

公演時間100分（休憩10分）

原作：O.ヘンリー
脚本：平塚 仁郎
演出：村田 里絵

派遣者数

出演者14名 スタッフ3名

タイムスケジュール（標準）

開演時間 13時30分とした場合・・・

7時頃到着～ ただちに舞台・楽屋共、搬入・仕込み（所要時間 4時間）
（この間に、先生と開演の最終打ち合わせをします）

11時頃～ 共演生徒さん方のリハーサル（所要時間 1時間）
（共演生徒さんの衣装合わせ・座席の確認もします）

12時30分頃～ 昼食後、共演生徒さん再集合（メイク・衣裳着替え・準備運動等）

13時30分開演～15時10分終演（途中休憩10分）
（希望があればバックステージツアー、交流会など開催）

●ばらし作業には1時間半から2時間かかります。

実施校への協力依頼人員

特にお願ひする事はありませんが、ばらし作業時にご希望があれば参加できます。

演目解説

★あらすじ 生き難い時代にあっても、たくましく生きる人々！

短編の名手O. ヘンリーの4作を厳選し、オムニバスで綴ります。
まずは、その見事なまでの「どんでんがえし」をお楽しみ下さい！

第一幕 公園にて（第一話 心と手 ・ 第二話 愛の使者）

少年ボブは小遣い稼ぎに、旅支度の男の荷物持ちをするが、鞆が重くてへとへと。公園のベンチで一休みしていると、そこへ通りがかる人たちのドラマに引き込まれ…そもそも、その旅支度の男も何やら大変な訳有りの様で…

第二幕 ボブのアパート（第三話 賢者の贈り物 ・ 第四話 最後の一葉）

ボブのアパートには、貧しいながらも人生を謳歌するユニークな住人が大勢いた。仲睦まじい若夫婦デラとジム、病に倒れたジョンジーと同じ絵描きの仲間達…その年のクリスマス、それぞれに特別なプレゼントが用意されていた…

★テーマ 自分より大切に思える誰か…あなたにとって、それは誰ですか？

- ☆ 普通の人々の何気ない暮らしに向けられたO. ヘンリーの温かい目、ありふれた日常の中にこそある幸せや希望を見つめ、生きていくために本当に大切なものは何なのかをあらためて考えます。
- ☆ 人間誰も陥る危険性のある絶望や無力感、そこから自ら這い上がろうとする時、大きな支えとなる、そんな人との絆、その絆の結び方を考えます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

共演について エキストラにさせません！

生徒さん(先生でも可)7名程のご出演を想定していますが、希望人数によってアレンジ可能です。男女は問いません(共演の生徒さん方も、しっかり鑑賞できるよう工夫しています)。基本は、

- 第一幕冒頭に登場する「腹ペコ兄弟(姉妹)」役 2名
- 第一幕終わりのシーンで、「帰途を急ぐ勤め人」役 1名
- 第二幕の開幕前、これから始まる物語冒頭の朗読者 1～3名
- 第二幕、主人公と同じ「アパートの隣人」役 1～4名

簡単なセリフと動きを覚えたり、朗読の練習をして頂きますが、一番大事な事は「間違えない」ことではありません。役に扮する事を体験する中で、自分らしさを知り、それを表現する事の楽しさ、積極的に意思の疎通を図り、互いを信頼することの大切さ、共に創り上げること、そして、演劇の面白さを実感して頂くことです。終演後は各々工夫を凝らした扮装のまま記念撮影をします。

歌(演奏)での参加 チャンスは「俳優さん」だけではありません！

舞台転換中、短い「クリスマスキャロル」の独唱・合唱(あるいは希望楽器での演奏)で、雰囲気を作り、効果を上げて頂きます。人数(楽器)などは事前にご希望をうかがい、楽譜を用意しますが、ワークショップの後、多少の自主練習をお願いします。

スタッフとして参加 舞台は「俳優さん」だけでは創れません！

舞台芸術は役者だけでは完成しません。「裏方さん」としても、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。そこで

- 開演・終演のアナウンス
- 大道具の転換のお手伝い
- 効果の手伝い 等が可能です。

◎事前の鑑賞指導について

わずかでも作品の背景を知ること、当日、積極的に深い鑑賞が可能となり、より楽しめます。
また、そもそも舞台芸術が「観客」と共に創造していくものであるという事を、この事業を通じて「体験」して頂きたい。楽しかったというその体験こそが、将来の良き「観客」を生み育むと
考え、豊かな時間となるよう工夫します。

◎とにかく、一緒に動いてみよう！

共演を通じて、舞台芸術が身近になり、さらに深く興味を持って頂きたい、そして、覚えた事を「正しく」やるのが目的ではなく、自ら心身共に解き放ち、自分を表現する事の喜びや、**他人と協力しながら何かを創り上げる事の喜び**を経験して頂きたい。その為に必要な信頼関係を短期間で築くには、まず、一緒に動くこと動けることだと思っています。

児童生徒とのふれあい

お別れのその時まで・・・

舞台を一層身近に感じてもらえるよう、上演後のバックステージツアーや俳優達やスタッフとの交流会も実施可能です。

また、条件次第では**ばらし作業**の見学や「お手伝い」もできます。「劇場」が、いつもの体育館へと戻っていく様子を目の当たりにするのも、楽しい経験だと思います。